

## 事例 11 神奈川県開成町

人 口	13,394 人
高齢者数	2,128 人
高齢化率	15.89%
担当部署	保健福祉課

1. 市町村の概況

市町村名 開成町

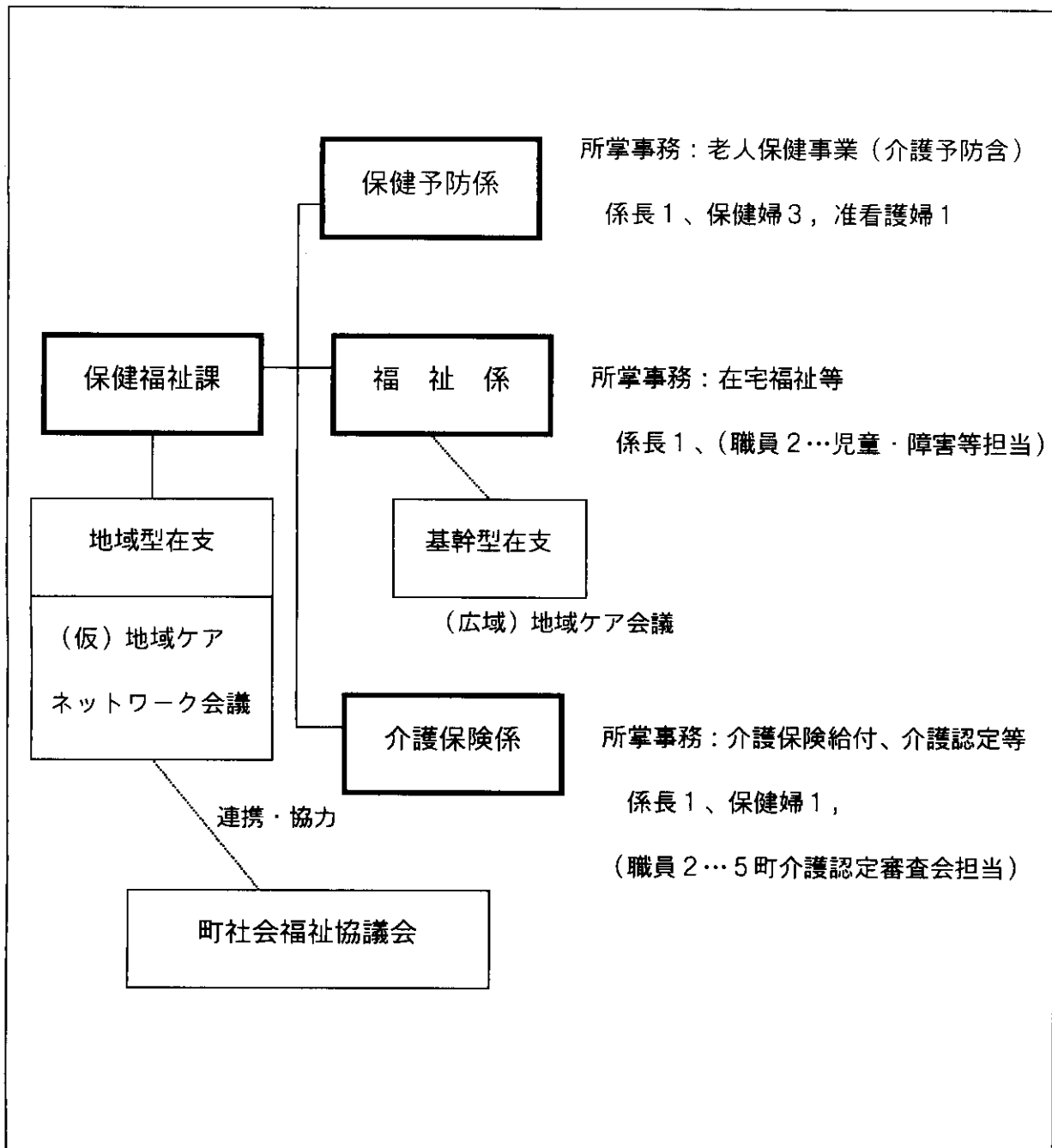
市町村の沿革概要	<p>開成町は、神奈川県西部にある足柄上地区の中央部に位置し、東京から70 km 圏、横浜から50 km の距離にある東西1.7 km、南北3.8 km、総面積6.56 km<sup>2</sup>と小さいながらも人口密度の高い町であると同時に、県西地区における副中心都市としての質の高いまちづくりが期待されている。</p> <p>昭和30年2月1日に、小田原藩当時から行政区域の変更もなく存続していた吉田島村と酒田村が合併して、開成町が誕生した。合併当時は、人口4,633人、世帯数801戸の農村地帯であったが、温暖な気候と交通網の発達により、近年は住宅地として発展しており、平成12年国勢調査では、人口13,394人、世帯数も4,208戸となっている。</p>								
人口	13,394 人			高齢者数 (高齢化率)		2,128人 (15.9%)			
世帯数	65歳未満の者のみの世帯			65歳以上の者のいる世帯					1,267
	2,941			単独世帯	65歳以上夫婦のみの世帯			その他	
				681	278			—	
要介護認定 (申請)者数	申請中	非該当	要支援	要介護1	2	3	4	5	合計
	22◎	1◎	19	55	37	36	30	37	214
社会資源状況	指定居宅サービス事業所 (か所数)	訪問看護 (1)      訪問介護 (2)      通所介護 (1) 通所リハ (1)      短期入所系 (1)      その他 ( )							
	指定居宅介護支援事業所 (か所数)	3							
	保健センター 在宅介護支援センター (か所数)	保健センター 1 基幹型在宅介護支援センター 1 (近隣5町による共同設置) ※保健福祉センターなど、保健・福祉が一体となった施設があれば、記入して下さい。							
	介護予防事業の拠点となりうる場 (か所数) (公的施設以外も含む)	3箇所							
介護予防事業の担い手となりうる組織・団体 (組織・団体数・人員数)	健康普及員 OB あゆみ会 (58名) 民生委員・児童委員 (24名) 食生活改善推進団体 (79名) 健康普及員 (20名)								

※データについては、できるだけ直近のものをお願いします。

◎ 「申請中」は、平成14年1月末時点。「非該当」は平成13年度分(4月～)の数値。

## 2. 市町村の高齢者保健福祉行政の組織図

市町村名 開成町



3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

市町村名 開成町

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」に関連(類似)する事業がありましたか?</p>	<p>( ) 関連(類似)事業があった。 →問2～問4へ (○) 関連(類似)事業はなかった →問5へ</p>
<p>(問2) 実施していた事業は、どのような根拠に基づき、どの部局が所管していた事業ですか? また、その事業内容についてもご記入下さい。</p> <p>※既存資料で、事業内容等わかるものがあれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業実施の根拠(国庫補助事業、県単独助成事業)、 所管部局、 事業内容(事業名、事業目的、対象者、実施回数、スタッフ等)</p>
<p>(問3) 上記事業の効果測定(評価)を行いましたか?</p>	<p>( ) 行った ( ) 行っていない ↓ (具体的方法)</p>

3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

市町村名 開成町

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問4) 従来の事業を「介護予防事業」という形で見直したり、また新たな施策を企画することになった経緯について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心となった部局はどこか？</li> <li>・ 何がきっかけとなり、どのような判断をしたのか？</li> </ul>	
<p>(問5) (問1)で、関連(類似)事業がなかったと答えた市町村にお聞きします。 今般、「介護予防事業」に取り組もうとしたきっかけは何ですか？</p>	<p>閉じこもり予防として、環境の変化に着目し、転入高齢者を対象とした。 小さい町なので、従来からの住民は把握できるが、転入者については状況の把握が困難であったため、介護予防の位置付けとして開始した。</p>

4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

市町村名 開成町

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」の企画立案体制について下記のような点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場を利用し、どのような機関・団体等と協議したのか？</li> <li>・学識経験者や現場の担い手などの意見をどのように採り入れたか？</li> <li>・高齢者やその家族、地域住民等の参加する機会があったのか？</li> <li>・どの部局が中心となって企画し、他の部局との協力体制は、どうであったのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者保健福祉運営協議会 (医師、歯科医師、民生委員、保健福祉事務所、住民代表等)</li> <li>・保健予防担当保健婦と福祉担当社会福祉協議会、教育委員会生涯学習担当、高齢者生きがい事業団、介護保険担当、民生委員、老人会などに理解を得、情報提供パンフレットの作成を行った。</li> </ul> <p>→保健予防担当保健婦が調整</p>
<p>(問2) 「介護予防事業」を企画する際、下記のような検討事項があったと思います。 貴市町村での検討事項と検討内容、その結果について記入して下さい。</p> <p>(検討事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズをどのように把握するか？ (ニーズ把握の方法)</li> <li>・事業対象者の選定方法はどうか？</li> <li>・事業に従事する人材をどのように確保するか？</li> <li>・既存の設備の利用が可能か？</li> <li>・新たな設備整備が必要か？</li> <li>・どの部局の事業予算をどのように確保するか？</li> </ul>	<p>小さい町なので、高齢者の状況等はだいたい把握しているが、転入者については把握が難しい。</p> <p>それまでの保健福祉活動の中で、高齢期になって転入して来る人は、同居せざるを得ない理由があった。 (介護を要したり、配偶者の死等による一人暮らし)</p> <p>高齢期に入ってから環境の変化は、精神的不安が大変大きく、閉じこもりやうつ病、痴呆のきっかけとなりやすいことから、早期に地域に慣れてもらい、何かあったら相談できる地区民生委員に訪問依頼することを考えた。</p>

5. 「介護予防事業」の実施について

市町村名 開成町

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>〔記入項目例：事業名、事業目的、対象者、事業内容、開始時期、実施回数（週、月）、実施体制（スタッフ、研修）、事業予算・補助金、事業所管課、他課との連携（協力）体制 等〕</p> <p>事業名： 「かいせい・ようこそ訪問」</p> <p>対 象： 65歳以上の転入者</p> <p>事業内容： 上記転入者に対し、民生委員等による家庭訪問を通じて町への親和性を深め、転入後の引きこもりの予防を図り、高齢者に対する保健福祉、生きがい施策の紹介等を行う。</p> <p>転入届 → 保健福祉課から民生委員に訪問依頼 → 民生委員による訪問 → 保健福祉課へ報告 → 各事業担当が状況に応じサービス調整・対応</p>
<p>(問2) 住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p>	<p>別添資料2 冊子「ようこそ かいせいまちへ」により、対象者へ個別説明</p>

5. 「介護予防事業」の実施について

市町村名 開成町

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問3) 「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>〔 記入項目例：事業名、事業費 年間実施回数 年間利用者数(実人数、延べ人数) 〕</p> <p>※1年未満の事業の実施回数、利用者数については、実施期間内での実績を記入して下さい。</p> <p>事業名：「かいせい・ようこそ訪問」</p> <p>事業費：なし</p> <p>訪問件数： 12件 ( H12.10 ~ H13.3までの実績 )</p>
<p>(問4) 現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<p>対象者は少人数ではあるが、転入による環境の変化に対し、町や地域に暖かく迎えられているということを本人に伝えることができ、対象の状態やニーズにあったサービスの提供にスムーズにつなげていくことが可能となっている。</p>



5. 「介護予防事業」の実施について

市町村名 開成町

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問5) うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<p>訪問していただく民生委員からケースの報告を行ってもらうとともに、会議等で事例報告を行い検討している。</p>
<p>(問6) 今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<p>地域ケアの調整（関係機関の連携）を強化する。</p>
<p>(問7) 現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<p>地域ケアの調整を行う仕組みとして、平成14年4月に、「(仮称)地域ケアネットワーク会議」を設置するよう準備を進めている。</p>

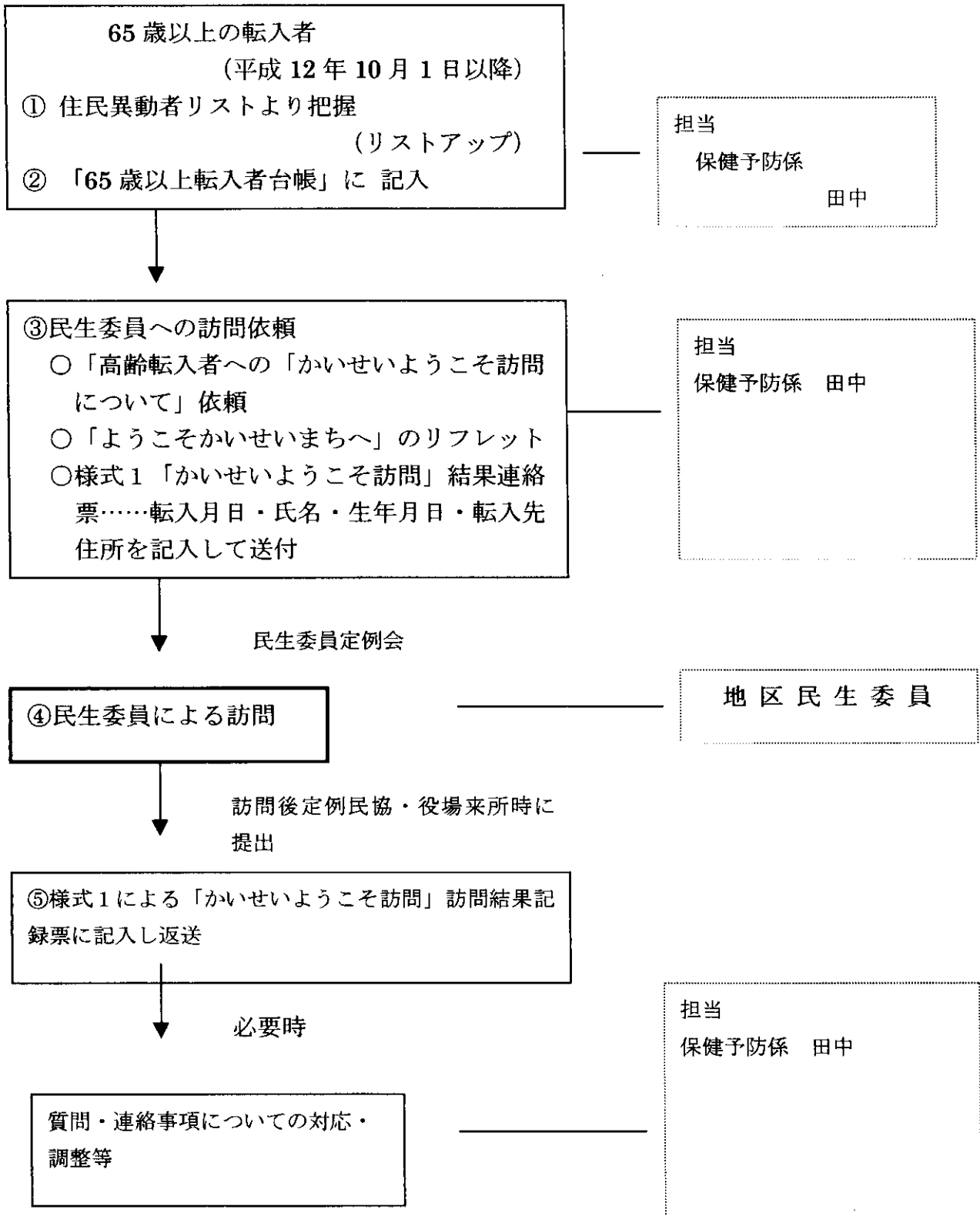
6. 「介護予防事業」の評価について

市町村名 開成町

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>( ) 行っている。→②へ</p> <p>(○) 行っていない。</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>※「事業ごとの評価」を行っている評価の資料があれば、添付して下さい。</p>	
<p>(問2) 「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	<p>現在は、介護予防という視点から事業を立ち上げることに追われており、事業評価まで至っていないのが現状。 今後、介護保険料や要介護認定の状況、医療費等とあわせて評価していきたい。</p>
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	<p>資料3（現在のところは高齢者保健福祉計画による目標管理のみ）</p>

### かいせいようこそ訪問フローチャート



## かいせいようこそ訪問事業

1 目的 高齢になってからの転入による地域からの孤立・ひきこもりからくる痴呆や寝たきりを予防するために、開成町における高齢者の保健福祉施策やいきがいに関する事業等の紹介を行い、高齢転入者が開成町への親和性を深めることを目的とする。

### 2 方法

- ① 保健福祉課で転入者のリストアップ
- ② 開成町民生委員による家庭訪問により「かいせいまちへようこそ」のリーフレットを持参してもらい地域との親和性を持つきっかけになっていただく。
- ③ 転入者把握後、訪問依頼については町内配達便にて資料等依頼する。
- ④ 上記②③については、民生委員定例民協にて了解を得る。

### 3 対象

65歳以上での町外からの転入者

### 4 転入者への紹介内容

- |                      |   |                              |
|----------------------|---|------------------------------|
| ① 働きたい高齢者のために        | → | 生きがい事業団の紹介                   |
| ② 趣味・教養のために          | → | 教育委員会生涯学習課事業紹介               |
| ③ 地域活動のために           | → | 老人クラブ事業紹介                    |
| ④ 保健健康づくりのために        | → | 保健福祉課 保健予防係事業紹介              |
| ⑤ 介護保険のサービスが必要になったら  | → | 保健福祉課<br>介護保険係事業紹介           |
| ⑥ 在宅福祉サービスが必要になったら   | → | 保健福祉課 福祉係事業紹介<br>社会福祉協議会事業紹介 |
| ⑦ 家庭・地域・生活のことで何か困ったら | → | 地区担当民生委員・児童委員名<br>直筆で記入      |

### 6 その他

訪問後は、様式1により『「ようこそ訪問」訪問結果連絡票』に記入し、翌月の定例民協時に提出していただく。

緊急を要するものについては、電話や保健福祉課への来所による報告。

保健サービスの実績

事業名	回数・人数	平成10年度 (実績)	平成12年度	平成16年度 (目標)	備考
基本健康診査	対象人数(人) 受診者数(人) 受診率(%) (ヘルスアセスメント実施率%)	1,404 506 36.0%	1,500 545 36.3% (2%)	1,650 645 39.1% (50%)	対象者は全世帯配布の検診希望調査票により把握。人間ドック受診予定者等は対象から除外。(40歳以上)
重点健康相談	箇所 実施回数(回)	12 17	12 19	12 19	老人クラブの活動の場等を活用した回数
総合健康相談	箇所 実施回数(回)	10 42	10 44	10 44	よろず健康相談やがん検診の場等を活用した回数
健康教育 (一般)	実施回数(回)	8	23	25	運動教室や生涯学習講座等の回数
健康教育 (重点)	実施回数(回) (ヘルスアセスメント連携率%)	26	26 (19.2%)	26 (23%)	高血圧、糖尿病、高脂血症等、病態別健康教育及び転倒予防教育等の回数
個別健康教育	人数(人)		5	8	H12年度 高血圧 H13年度 糖尿病・高血圧 H14年度 糖尿病・高脂血症 H15年度 糖尿病・高脂血症 H16年度 糖尿病・他3疾患
B型機能訓練	箇所数 実施回数(回) 参加延人数(人) (ヘルスアセスメント実施率%)		1 24 269 (100%)	2 36 576 (100%)	対象者は自立認定者、虚弱高齢者等のうち参加者見込み10% H12年度 14人 H16年度 20人 参加率を80%と見込む
訪問指導	対象者(人) 平均指導回数(回) 延訪問回数(回) (ヘルスアセスメント実施率%)	229 1.6 369	247 1.7 430 (14.1%)	259 1.8 470 (24.5%)	H10年度実績は在宅要援高齢者の個別調査 195 人を除く
介護家族訪問 相談	対象世帯 平均指導回数(回) 延訪問回数(回)		29 1 29	34 1 34	対象者は介護家族見込み H12年度 171件 H16年度 203件
介護家族健康 教育	実施回数(回)		2	2	B型機能訓練の場を 活用した回数
介護家族健康 相談	実施回数(回)		18	18	よろず健康相談と同 時に開催する回数

保健サービスの目標

事業名	回数・人数	平成10年度 (実績)	平成12年度	平成16年度 (目標)	備考
胃がん検診	対象者(人) 受診者(人) (受診率%) 精検受診率(%)	1,303 529 (40.6%) 80.3%	1,310 540 (41.2%) 82.0%	1,450 657 (45.3%) 90.0%	対象者は全世帯配布の検診希望調査票より把握。人間ドック受診予定者等は対象から除外。(35歳以上)
子宮がん検診	対象者(人) 受診者(人) (受診率%) 精検受診率(%)	1,276 457 (35.8%) 100%	1,290 490 (38.0%) 100%	1,581 613 (38.8%) 100%	同上 (30歳以上)
肺がん検診	対象者(人) 受診者(人) (受診率%) 精検受診率(%)	1,247 686 (55.0%) 90.9%	1,270 689 (54.3%) 92.0%	1,450 817 (56.4%) 95.0%	同上 (30歳以上)
乳がん検診	対象者(人) 受診者(人) (受診率%) 精検受診率(%)	1,189 388 (32.6%) 58.6%	1,290 465 (36.1%) 58.6%	1,581 581 (36.8%) 65.0%	同上 (30歳以上)
大腸がん検診	対象者(人) 受診者(人) (受診率%) 精検受診率(%)	1,436 678 (47.2%) 54.9%	1,470 693 (47.1%) 55.0%	1,550 740 (47.8%) 59.0%	同上 (35歳以上)

[算出根拠]

\* 訪問指導(1) 健康の要指導者=(健診の要指導者) × (年間平均回数2回) × (町が定める割合20%) A

(A+B)

(2) 介護予防の観点から支援が必要な者=(介護予防で訪問指導が必要な者) × (年間平均回数3回) × (町が定める割合80%) B

\* 介護家族訪問指導=(介護家族見込み数) × (年間平均回数1回) × (介護高齢者4.4%) × (介護者が病気が38%)

× (介護者が病気が38%)